

令和 5 年度 (2023 年度)

事業報告書

自 令和 5 年 (2023 年) 4 月 1 日

至 令和 6 年 (2024 年) 3 月 31 日

公益社団法人城陽市シルバー人材センター

令和5年度(2023年度)事業報告

＜はじめに＞

〃地域に役立つシルバー人材センターを目指して〃を将来像として策定した第2次中・長期計画の4年目であった令和5年度は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行し、法律に基づいた外出自粛の要請などはなくなり、感染対策は個人の判断に委ねられるなど、3年余り続く国のコロナ対策は大きな節目を迎えました。

こうした状況の下で、設立40周年記念式典・記念講演会の開催につきましては、当センターを市民の皆様に認知いただくとともに、これまでご支援をいただいている行政・関係機関並びにお仕事をいただいている利用者の皆様に対して、会員自身が健康で生きがいを持って就業できることに感謝し、「感謝！」をテーマに市民参加型の記念事業と位置付けて、設立40周年を祝していただける事業を実施いたしました。

事業実績につきましては、理事長をはじめとする就業開拓委員会委員などが既存取引事業所（発注者）へ受注継続のための直接訪問や併せて満足度調査の実施と新規の事業所等を積極的に訪問して就業開拓を行った結果、契約金額は前年度を2,676千円（1.2%）上回り、コロナ禍前の水準以上の実績となりました。その一方で会員の状況は、65歳までの雇用延長や65歳を超えても働ける制度を導入する企業が増えている影響により新規の入会者が少ないため、有料広告等を活用し、幅広く市民に対し普及啓発を行いました。高齡化が進展し、病気等による退会者が多くなり、結果、減少することとなりました。

令和5年度は、消費税における「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」が導入され、新たな税負担が発生するなど、厳しい運営環境ではありましたが、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」の精神のもと、会員の責任のある仕事の遂行や城陽市、関係機関及び市民の皆様方の温かいご支援とご協力をいただき、業務を遂行することができました。

＜事業実施状況＞

1 就業機会の確保及び提供事業

（1）受託事業

① 正会員数

令和6年3月31日現在の会員数は483人で、前年度に比べて18人の減少（入会54人、退会72人）となりました。

なお、男性は375人（77.6%）、女性は108人（22.4%）で、平均年齢は、男性76.4歳、女性73.9歳、全体で75.8歳となり、年々会員の高齢化が進んでいます。

② 地域貢献件数（受注件数）

令和5年度の地域貢献件数は1,285件で、前年度に比べて158件（10.9%）の減少となりました。

この地域貢献件数の発注元別の状況は、公共事業が153件（前年度比4件、2.6%の減）、民間事業（事業所及び個人・家庭）が1,132件（同154件、12.0%の減）となりました。

③ 地域貢献金額（契約金額）

令和5年度の地域貢献金額は204,683千円で、前年度に比べて2,044千円（1.0%）の増額となりました。

この地域貢献金額の発注元別の状況は、公共事業が89,616千円（前年度比1,725千円、2.0%の増）、民間事業（事業所及び個人・家庭）が115,067千円（同319千円、0.3%の増）となりました。

厳しい運営環境のなかで、地域貢献金額に増加の実績をあげることができたのは、会員が地域に根ざした責任ある仕事の遂行に加え、企業及び市民の皆様方のご理解とご協力の賜物であります。

④ 就業状況

令和5年度の実業人員は426人（前年度比30人、6.6%の減）、就業率は88.2%（同2.8ポイントの減）で、就業延人員は65,351人日（同1,973人日、2.9%の減）となりました。

（2）会員増強を通じた就労支援及び普及啓発事業

① 【会員拡大強化月間】（第1回：6月1日～6月30日まで、第2回：11月1日～11月30日まで）と定め、女性活躍促進に向けた会員募集の啓発チラシを配布しました。（第1回：市内全世帯各戸配布33,319枚、第2回：市内6ブロック2,425枚）

② 会員増強を図るため、高齢者活躍人材確保育成事業（広告事業）を活用し、城陽市発行の広報「じょうよう」に令和5年4月～令和6年3月まで（1日号の計12回）、会員募集！等の当センターに関する有料広告を掲載しました。

また、当該事業（セミナー事業）では、11月30日、文化パーク城陽・ふれあいホールにて「設立40周年記念 山岸久朗 講演会」を開催

しました。１２９名の参加で、設立４０周年の節目にあたり、企業退職（予定）者層及び６０歳以上の市民・会員に普及啓発することが出来ました。

- ③ 随時の入会説明及びシルバー人材センター入会のご案内 DVD を活用し、毎月定例の合同入会説明会（計２４回）を行いました。
- ④ 会報「シルバーウェーブ設立４０周年記念号・新春号」（１月）を発行しました。
- ⑤ 城陽市発行の広報「じょうよう」に事業案内等を掲載しました。
- ⑥ 城陽市の公用封筒裏面や、城陽市高齢者クラブ連合会機関紙「微笑」及び洛タイ新報に普及啓発の広告を掲載しました。

（３）就業機会の開拓と確保提供事業

- ① 女性活躍促進に向けた普及啓発チラシ（就業開拓）を６月２日～６月７日までに、３３，３１９枚を市内全世帯各戸へ配布し、就業機会の確保に努めました。
- ② 【就業開拓強化月間】（第１回：７月１日～７月３１日まで、第２回：１２月１日～１２月３１日まで）と定め、就業開拓運動を実施いたしました。
- ③ 就業開拓委員会委員が中心となって、７月２４日～８月１０日までに、企業等への就業開拓４９事業所等へ直接訪問し発注依頼を行い、就業機会の開拓に努めました。
- ④ 就業開拓委員会委員が中心となって、１２月１５日～１２月２０日までに、継続受注先（発注者）４９事業所等へ直接訪問し、就業のお礼と新たな発注依頼も行い、就業機会の開拓に努めました。また、表敬訪問と併せて満足度調査を実施しました。
- ⑤ 個人・家庭、行政への発注依頼を行い、就業の開拓に努めました。
- ⑥ 当センターのホームページにより、庭の除草等の発注があり、会員の就業に繋がりました。

（４）安全・適正就業対策

- ① 安全管理委員会委員が中心となって、就業中や就業途上の事故防止と安全意識の高揚に努めました。
- ② 高年齢者の健康状態や体力等を考慮した安全・適正就業として、特に夏場の屋外作業での就業時間の制限等を個別に指導しました。
- ③ ７月１０日～７月１２日、作業現場（植木剪定、草刈り、広報紙受取り、駐車場他）で安全就業パトロールを実施しました。また、物損事故

の現場（市役所第2駐車場）検証も行い事故再発防止に努めました。

- ④ 7月24日、安全・適正就業強化月間（7月）に合わせ、公益社団法人京都府シルバー人材センター連合会安全・適正就業委員会主催の「安全・適正就業推進大会」に参加し、安全就業の推進に努めました。

- ⑤ 9月29日に、交通安全教室（17名参加）を開催しました。

（5）福祉・家事援助サービス事業

- ① 福祉・家事援助サービス提供体制の充実に努めました。
- ② サポートが必要な高齢者や障がい者等の自立した生活を支援するためのサービスの提供に努めました。
- ③ 福祉行政や福祉関連サービス等と連携し、超高齢社会においてお互いに協力して支え合う就業体制づくりに努めました。

（6）高齢者の健康に関する各種事業

- ① 5月20日開催予定であった第11回親睦グラウンドゴルフ大会は、参加希望者が少人数のため、中止としました。
- ② 10月5日に、高齢者のための運動教室「シニアフレイル予防講座」（20名参加）を開催しました。

（7）空き家等対策事業

- ① 空き家等の適正な管理を推進し、安全に安心して暮らせるまちづくりに寄与することを目的に、空き家となった庭の草引きや郵便物の転送など、各種サービスを行いました。

当該事業の受注件数は53件で、就業延人員は88人日、受注額は451千円となりました。

2 職業紹介事業・労働者派遣事業による就業機会の確保及び提供事業

（1）職業紹介事業

実績はありませんでした。

（2）労働者派遣事業

令和5年度の派遣労働実人員は29人（前年度比2人の減）、契約件数は28件（同2件の増）で延3,570人日（同152人日の減）を派遣し、契約金額は20,111千円（同632千円の増）となりました。

また、派遣労働会員に対する教育訓練（研修・講習）及び当該会員の意向に沿ったキャリア・コンサルティングを実施しました。

3 就業のための知識及び技能取得講習等事業

- ① 2月28日に、人権研修（このまちが好きだから 28名参加）を開催しました。
- ② 3月15日に、緑地管理講習会(植木剪定・座学 18名受講)を開催しました。

4 その他高齢者の就業に関し必要な事業

- ① 令和5年度シルバー人材センター事業普及啓発促進月間「シルバーの日（10月の第3土曜日）」である10月21日（土）に会員及び役職員32名の参加で、鴻の巣会館前からJR城陽駅前広場及び周辺道路において、清掃ボランティア活動を行いました。
- ② 当センターと城陽市及び京都府山城広域振興局との間で「山城ふるさとを守る絆ネット推進事業（見守り）」における「山城ふるさとを守る活動に関する協定」を締結、当センターでは「地域見守りボランティア活動」として、会員が広報紙等の全世帯各戸配布業務中に市内の全世帯及び事業所の日常生活で何らかの異変等を察知した場合、当センター事務局等へ連絡（通報）していただく活動をしており、令和6年3月末現在のところ、1件の連絡（通報）がありました。

5 設立40周年記念事業

当シルバー人材センターにご支援をいただいている行政・関係機関並びにお仕事をいただいている利用者の皆様に対して、会員自身が健康で生きがいを持って就業できることに感謝し、その思いを込めて、「感謝！」をテーマに設立40周年記念事業を実施しました。

設立40周年記念事業実行委員会をはじめ、会員及び役職員の当センター関係者にて運営を行っていただき、次の事業を成功裡に終えることができました。

- ① 記念式典（式辞、感謝状及び表彰状贈呈、来賓祝辞・紹介等）
- ② 記念講演（演題は、「相続を争族にさせないために」）

6 福利厚生事業（共益事業）

- ① 会員に役立つ事業として、7月13日に、「食育セミナー」 “カラダは食べた物からできている” （28名参加）を開催しました。
- ② 会員に役立つ事業として、9月5日に、「いきいき美容教室」 “みんなで楽しく健康寿命をのばそう” （11名参加）を開催しました。

- ③ 会員の生きがいをづくりを促進するため、各種サークル活動の自主的な運営に側面的な支援をしました。

7 その他、目的達成のための必要事業

(1) 定時総会

定款の定めにより、定時総会を令和5年6月1日に開催し、事業運営上の議案を審議しました。

(2) 理事会

理事会を年5回開催し、事業実施に関する議案を協議・決定しました。

(3) 三役会

三役会を年4回開催し、理事会への審議等の提案事項を決定しました。

(4) 各種委員会の開催

- ① 安全管理委員会を年4回開催し、会員の安全就業について検討しました。
- ② 福利厚生委員会を年2回開催し、会員の福利厚生及び知識向上について検討しました。
- ③ 就業開拓委員会を年4回開催し、会員の就業機会拡大の方策等の検討や取引の継続を依頼するため、既存取引事業所へ表敬訪問いたしました。
- ④ 設立40周年記念事業実行委員会を年6回開催し、令和5年11月30日に、公益社団法人にふさわしい記念事業とするために検討いたしました。

(5) 地域班活動事業

- ① 正・副地域班長会議を年4回開催し、会員相互の連携意識の高揚と親睦を深める事業等について検討しました。
- ② 各種事業への積極的な参加を班会員に呼びかけました。
- ③ 地域班「女性の会」発足により親睦活動等を推進し、地域班活動並びにセンター事業の機能強化に努めました。
- ④ 会員に講習会の案内や会報「シルバーウェーブ」の配付を行いました。

(6) 健全な財政運営の推進

シルバー人材センター事業運営の財源である国の補助金の運営費補助の一部が事業費補助に組み替えられ、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（人手不足等分野の業務）として措置されたシルバー派遣事業を積極的に推進し、就業先の開拓や事業の効率的・効果的な実施及び事務経費の見直しを行い、財政の健全化に努めました。

（７）拠点シルバー人材センターの連携

山城地域拠点シルバー人材センター連絡会職員会議で、各拠点シルバー人材センター運営の向上を図るため、共通課題の検討及び情報交換をしました。

（８）事務局体制の充実

事務の効率化の推進に向けて、また、事業実施に必要な資格・免許取得のための研修会に積極的に参加し、研鑽に努めました。

附 属 明 細 書

事業報告に関する附属明細書に記載すべき重要な事項がないため、省略している。